

# 将来の 原

その2

# 発比率は

# 我々

# が決める



経済産業省  
資源エネルギー庁

総合資源エネルギー調査会基本政策分科会

長期エネルギー需給見通し小委員会

委員の過去発言から。。

委員会名簿(参考資料①)の順番で14名の委員のうち7名の過去発言は前回紹介しました。今回は残り7名の委員いってみましょう

## 高村 ゆかり 氏

名古屋大学大学院環境学研究科教授

2014/12/9

2020年以降のCO2削減目標

2015年3月末か6月

参考資料②

エネルギーミックスを決めて目標を出すのだとすると、国際的な目標の提出期限との関係では、エネルギーミックスの議論自体を急がないといけません。他方で、原子力の問題についてきちんと議論をするということもまた、私自身は意味があると思っています。そうであれば、目標の出し方というものを工夫する必要があります。どちらにしても、頭を絞らないといけません。

## 中上 英俊 氏

(株)住環境計画研究所代表取締役会長

「原発ゼロ」の夏が、今後もし続きそうだ  
—という問いに対して

2014/7/22

参考資料③

経済への悪影響を懸念しています。省エネを進めても原発ゼロという供給の大幅減少がありました。これには省エネだけで対応できません。

## 野村 浩二 氏

慶応義塾大学産業研究所准教授

2012/3/2

参考資料④

「日本の潜在成長力評価におけるエネルギー・環境戦略」という資料のまとめ

原発依存低下による成長力への影響 (一部抜粋)

短期>

再稼働がなければ、経済成長への影響は大きい

長期の低原発化>

- ・原発推進時に比して (成長力への負の影響) 甚大
- ・エネルギー安全保障リスク増大

長期の脱原発>

- ・上記に加えて、潜在成長率への影響は増大

# 増田 寛也 氏

野村総合研究所顧問  
東京大学公共政策大学院客員教授

2014/1

経産省の名簿(参考資料①)肩書きには出てきませんが、東京電力の社外取締役でもあります

参考資料⑤

(原子力発電を)直ちに今、全部やめるという選択は難しいのではないのでしょうか。もちろん、将来的に原発不要とするならそれでもいいですが、高レベル放射性廃棄物は残ります。原発をやめてもその処分場は必ずつくらないといけないわけですし、そのための努力はずっとやっていく必要があります。

# 安井 至 氏

(独)製品評価技術基盤機構理事長

2015/1/24

参考資料⑥

反原発派の主張もやはり一神論の一つ。いずれの方向の主張だとしても、一神論的議論は、有害な議論だ

# 山地 憲治 氏

(公財)地球環境産業技術研究機構理事・研究所長

2014

参考資料⑦

原子力という選択肢を維持し、更なる省エネを進め、再生可能エネルギーを積極的に導入すると共にクリーンな化石燃料を安定的に利用する必要がある。

# 山名 元 氏

京都大学原子炉実験所教授

2014/12/10

参考資料⑧

わが国が“重要なベースロード電源（エネルギー基本計画）”である原子力を一定量維持するために、支援を行うことは妥当な措置である。  
(中略)  
「政策的支援に裏打ちされた強い民営事業としての原子力」の再構築は、エネルギー安全保障上の国益に繋がる。

## 少しだけ感想を

っということ2回に分けて14名の委員のこれまでの発言等を見てみると、暗澹たる気持ちになります。

政策に近い考えの有識者を集めてどんどん政策にお墨付きをもらい、自分たちの思う通りに事を運んでいく。。本来、国民の代表者たる国会がこれを監視しなきゃいけないはずなのに、今の国会にその機能は見込めません。

国会議員が自分たちの職が危ないと思うくらい、国民の声が高まらないと、この状況はなかなか変わらないんでしょうねえ。そのためにはメディアの力が必要だと思うんですが、こちらもなかなか厳しいところがあります。とはいえ、少しでもこちらの側に立ってくれるメディアを全力で応援するというのも大事だと思います。

## 参考資料

- ①資源エネルギー庁HP  
平成27年1月30日 基本政策分科会（第16回）長期エネルギー需給見通し小委員会（第1回）合同会合 配布資料  
[http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic\\_policy\\_subcommittee/016/](http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/016/)
- ②言論NPO 「攻めの地球温暖化戦略は、実現に向けて動いているのか」  
<http://www.genron-npo.net/studio/2014/12/141209.html>
- ③Global Energy Policy Research 「無駄の「気づき」を継続させる 中上英俊氏【2014年電力危機】」  
<http://www.gepr.org/ja/contents/20140722-02/>
- ④内閣府 経済社会構造に関する有識者会議 第2回潜在成長率専門チーム(2012年3月2日)  
<http://www5.cao.go.jp/keizai2/keizai-syakai/k-s-kouzou/shiryou/senzaiseichouritsu-2kai/senzaiseichouritsu-2kai.html>
- ⑤野村総研 知的資産創造2014年1月号 2020年の日本 再び活力を取り戻すために  
<https://www.nri.com/jp/opinion/chitekishisan/2014/cs201401.html>
- ⑥市民のための環境学ガイド (安井氏の個人HP) 「ベストミックスを考える論理」  
<http://www.yasuienv.net/BestMix2015.htm>
- ⑦地球環境産業技術研究機構 年次報告書 2014年版第9号 「わが国の環境エネルギー政策の動向」  
<http://www.rite.or.jp/results/today/>
- ⑧産経新聞 正論 2014/12/10 「政策支援で原発事業の再構築を 京都大学原子炉実験所教授・山名元」  
<http://www.sankei.com/column/news/141210/clm1412100001-n1.html>